



遅くなりましたが

合唱コンクール 作文特集



少し遅れましたが、先月の合唱コンクールの作文を紹介します。早いものであれから1か月が経ちました。ぜひ、読んでみてください。

合唱コンを终えて

A組 M H

私は合唱コンクールを終えて、これまでの努力が実ったな、練習してきたことは無駄ではなかったなと思いました。

合唱コンまでの2週間、A組は必死に練習してきました。自由曲「心の瞳」は音程がうまく合わせづらく、とても難しい曲でした。また練習していくなかで、パートごとのバランスが悪い、フレーズ感をもつことができないなど改善していかななくてはならないことが本当にたくさんありました。

そんな時、先生がある動画を見せてくれました。それは、「心の瞳」を歌った坂本九さんの物語です。「心の瞳」は、坂本九さんが妻の由紀子さんに向けたラブソングです。「いつか若さを失くしても心だけは決して変わらない絆で結ばれてる」。ここの部分はどれだけの月日が流れてもずっと思いは変わらないという坂本九さんが由紀子さんに向けた思いの部分です。「心の瞳」は歌詞の言葉一つひとつに深い意味が込められています。そして本番では、A組のみんな一人ひとりが歌詞の言葉の意味を深く理解して、心を込めて歌えたからこそ金賞という結果にたどり着けたのだと思います。

練習してきた時間、本番で歌った時間、優勝した瞬間は私にとって大切な思い出です。あと5か月、このA組みんなと団結して生活していきたいです。

合唱コンクールを終えて

B組 H A

私は合唱コンクールを終えて「頑張ることの大切さ」を学びました。初めて合唱コン実行委員になり、放課後友達とポスターを描いたり、クラス紹介の文を考えたりして大変でしたが、楽しく実行委員の活動をしていました。こんなにしっかり活動するのは初めてで、これが実行委員か、と終始感じていました。

そして、私は悔し泣きをしたことがありませんでした。それは本気で行事に取り組めていないところがあつたのではないかと思います。ですが、合唱コンは実行委員だったので本気で取り組みました。だからか、金賞をとれなかったとき、みんなと頑張ったのに勝てなくて悔しいという感情がわき上がってきて泣いてしまいました。でも頑張ったから心残りはないですし、スッキリ終わることができたので、次から行事や何かに取り組むときは全力で取り組んでいきたいです。

「優勝」

C組 N K

僕は、きっと優勝だなと信じていました。

二週間前から練習期間が始まりました。最初は歌詞を覚えるところから始まりました。そこから、音程やリズムなどを練習して少しずつ技術を磨いていきました。そして、あっという間に合唱コンクールのリハーサルになりました。声もよく出ていたし、音程もよく取れていました。そこからまた練習を重ねました。音程もよくなり、歌詞の意味を考えて強弱ができるようになりました。さら

に、その裏で指揮者は放課後残って先生にアドバイスをもらいながら必死に練習していました。最後の音楽の授業で音楽の先生にアドバイスをもらい、最後はそこをたくさん練習しました。今までの練習は、実行委員、パートリーダー、指揮者、伴奏者を中心としてクラスみんながまとまってできたものです。実行委員からの一言をもらい、みんなのやる気が上がったところでついに合唱コンクールを迎えました。本番、緊張している中、みんな今までの成果を出せました。きっととれるかもと思いながら迎えた表彰式。結果はA組が金賞でした。

「なんで負けてしまったのだろう。今までがんばってリハーサルも上手くいったのに。」と思いました。僕は考えました。でも、こう思えるのは、今までクラスみんなが力を合わせてきたからだろうと。そして、合唱コン実行委員を中心として今まで努力をたくさんしてきたからだろうと。きっとC組はどのクラスにも負けていない。勝ったのです。きっとC組は『努力』という名の金賞をとれたのです。僕たちのクラスは優勝です。

「ほらね、ぼくたちは一人じゃない」

この歌詞とともに合唱の思い出を忘れず過ごしていきたい。

大丈夫? 「名前」は先に書きましょう!

来週の18日(月)～20日(水)にかけて、期末考査が行われます。ここまでの学習状況はいかがでしょうか? 定期考査後に学習の記録に振り返りを記入してもらっていますが、「もう少し早めにやればよかった」「もう少し時間をかければよかった…」と毎回同じような反省を書く人がいます。同じことを繰り返しては前へは進みません。前回の中間考査で振り返った反省を活かせるよう取り組みが必要だと思います。この土日で本番に備えてしっかり準備をしましょう。

さて、いつも試験監督をやっていて気になることですが、**試験が始まったら最初に「名前」を書きましょう。**当たり前のことですが、一部の人はいつも試験時間の終わり間際に書いています。挙句の果てには、試験監督の先生に指摘されて記入する人もいます。1年後に受ける可能性がある受験で同じようなことをすると、せっかく試験ができていても、不合格になってしまうこともあるのです。そのリスクを考えると、先に名前を書く習慣は必要です。来週からの試験で、名前の書き忘れの指摘がゼロになるように意識しましょう! (試験だけではなく、日常の提出物も同様です。よく名無しの返却物が教卓の上にあるのを見かけます。声をかけても無反応で、そもそも自分が提出したかどうか覚えていない人も見受けられます。)

■来週の予定(11/18(月)～11/22(金))

月 日	組	1	2	3	4	5	6	備 考
11/18 (月)		準備 学習	国語	保体	音楽			期末考査(1日目) 給食なし
11/19 (火)		準備 学習	理科	英語	技術 家庭			期末考査(2日目) 給食なし
11/20 (水)		準備 学習	数学	社会	道徳			期末考査(3日目) 給食なし
11/21 (木)	A	美術	英語	体育	家庭	音楽	美術	Ⅲ期時間割(始)
	B	英語	家庭	国語2	体育	数学	音楽	
	C	英語	美術	家庭	体育	数学	国語2	
11/22 (金)	A	技術	英語	数学	国語2	理科2	学活	避難訓練 花壇ボランティア
	B	英語	技術	国語2	理科2	社会		
	C	英語	理科1	技術	国語1	音楽		

※予定の変更等は、朝・終学活等で連絡します。_____は授業変更の箇所です。